

保育士配置基準の見直しについて

令和6年11月7日

第2回仙台市社会福祉審議会児童福祉専門分科会
第3回仙台市子ども・子育て会議

1. 保育士配置基準の見直しの内容について

(1)現在の本市の保育士配置基準について

- 本市が認可する保育施設等において、児童を保育する際に最低限必要な保育士の人数(保育士配置基準)は、児童の年齢に応じて、以下のとおりとなっている。

年齢	児童の保育に必要な保育士数
0歳児	おおむね3人につき1人以上
1歳児	おおむね6人につき1人以上
2歳児	おおむね6人につき1人以上
3歳児	おおむね20人につき1人以上
4歳児	おおむね30人につき1人以上
5歳児	おおむね30人につき1人以上

1. 保育士配置基準の見直しの内容について

(2)見直しの内容について

- 国の「こども未来戦略(令和5年12月22日閣議決定)」において、今後安心してこどもを預けられる体制整備を急ぐため、保育士の配置基準の改善を図り、同最低基準の改正を行うこととされた。
- これを受け、令和6年3月13日付で、各教育・保育施設において従事する職員等の数を定めた規定のうち満3歳及び満4歳以上児の職員配置基準に関する改正後の国の基準が公布され、令和6年4月1日付で施行された。
- あわせて、基準の改正にあたり、教育及び保育の提供に支障を及ぼす恐れがあると認めるときは、当分の間、改正前の基準を適用する旨が通知された。

年齢	従前の国の基準	新たな国の基準
3歳児	20人	15人
4・5歳児	30人	25人

※「こども未来戦略」において、1歳児の配置基準については、保育人材の確保等の関連する施策との関係も踏まえつつ、2025年度以降で加速化プラン期間中の早期に6対1から5対1への改善を進める、とされている。

2. これまでの本市の対応について

(1)本市の状況

保育士配置基準の見直しについては、保育士の負担軽減や保育の質の向上につながるが、国の基準改正日（令和6年4月1日）に適用した場合、次の影響があることから、本市では当該日に基準を適用せず、経過措置を適用する旨を各事業者あてに周知した。（令和6年2月29日付）

●現行基準に基づき職員を配置している施設（例：5歳児・30名）は、基準が改正されると保育士1人で25名までしか保育できなくなる。そのため、引き続き5歳児・30名の保育を行うためには、令和6年4月までに職員の増員が必要となり、職員が配置できない場合、既に受入れを内定した児童を受入れできなくなるおそれがある。

(2)事業者への意向調査結果

令和6年5月から6月にかけて、本市において基準の改正を実施した場合の事業者への影響等を把握するための意向調査を実施した。

その結果、児童の受入れや保育士の配置については、基準改正後も影響がないとの回答した事業者の多くが、職員採用など施設側の準備期間の確保を理由として、実施2年前の周知を希望する、との回答だった。

3. 新たな保育士配置基準の適用への本市の考え方について

新基準の適用については、事業者の意向を踏まえ令和9年度以降を見据えるとともに、令和7年度の保育施設等の利用状況や職員体制など事業者の状況を十分に把握したうえで判断を行っていく。

(参考)本市における保育施設・事業ごとの条例は次のとおり。

施設・事業種別	条例名
保育所	仙台市児童福祉法の施行に関する条例
幼保連携型 認定こども園	仙台市幼保連携型認定こども園の設備及び 運営に関する基準を定める条例
幼保連携型以外の 認定こども園	仙台市幼稚園型、保育所型及び地方裁量型の 認定こども園の認定の要件を定める条例
家庭的保育事業 小規模保育事業 事業所内保育事業	仙台市放課後児童健全育成事業及び 家庭的保育事業等の設備及び 運営に関する基準を定める条例